

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 新居浜市立高津小学校（※正式名称を記載）

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0866

愛媛県新居浜市宇高町2丁目13番7号

E-mail tkte-ad@esnet.ed.jp

Website http://takatsu-e.esnet.ed.jp/cms/

幼児児童生徒数 男子334名 女子364名 合計698名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、教育目標「豊かな心をもち、たくましく生きる児童を育てる」のもと、「ふるさと発見 つなげよう未来へ」をESDテーマに、「問題解決学習」「ESDに関する4つの視点（ふるさと、環境、福祉、生命）に立った学習」の2本柱で、ESDを推進している。

校区の特性や各学年の発達段階に応じて、1年生は「大好き高津小学校」、2年生は「大好き高津」、3年生は「わくわく高津発見」、4年生は「人に優しい町づくり」、5年生は「環境に優しい町づくり」、6年生は「未来に生きる高津っ子」をテーマに学習に取り組んでいる。

### ① 1年「大好き高津小学校」（ふるさと）

「高津小学校の一員として、友達との交流を通して、人とのつながりを味わわせる。」ことをねらいに、学校探検・校庭探検・公園探検を行った。また、わくわくフェスティバルを開催し、他学年の友達との交流を深めた。

### ② 2年「大好き高津」（ふるさと）

「地域の一員として、地域の人々と共に生きていこうとする心情やふるさ

と高津への愛情を育てる。」ことをねらいに、学校探検・校区探検を行った。校区探検では付き添いボランティア（保護者）と校区の施設を訪ね、地域の方々との交流を図った。また、わくわくフェスティバルを開催し、他学年の友達との交流を深めた。

③ 3年「わくわく高津発見」（ふるさと）

「地域の一員として、地域の人々と共に生きていこうとする心情やふるさと高津への愛情を育てる。」ことをねらいに、校区探検を行った。神社や寺などの史跡を巡り、地域の歴史や暮らしにふれるとともに、地域の方々との交流を深めた。

④ 4年「人に優しい町づくり」（福祉）

「全ての人々とつながり、共に生きていこうとする心情を育てる。」ことをねらいに、点字・手話・高齢者などについて、調べ学習を行った。調べる活動を通して、共生社会を構築していこうとする心情が高まった。

⑤ 5年「環境に優しい町づくり」（環境）

「身近な環境に対する問題意識と、友達や地域の方々と共に問題解決を図る実践力を高める。」ことをねらいに、森林資源・環境問題・新エネルギーなどについて、調べ学習を行った。調べる活動を通して、環境問題と主体的に向き合い、自分たちに何ができるか、考えを深めることができた。

⑥ 6年「未来に生きる高津っ子」（ふるさと、生命）

「全ての生命を大切にし、互いに守っていこうとする心情を育てる。」ことをねらいに、平和・職業・持続可能な社会づくりについて、調べ学習を行った。調べる活動を通して、自他を大切にするとともに、持続可能な社会づくりに貢献しようとする心情を高めることができた。



3年（校区探検で史跡を見学）



6年（前校長を講師に平和学習）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2, 2-1に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(5年・自然の家、6年・修学旅行)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「ふるさと高津 高津文化財」（横山功大） 「新居浜ものしり博士」（新居浜市教育委員会） 「新居浜の文化財」（新居浜市教育委員会） 「新居浜300年史」（新居浜市教育委員会） 「古文書で探るふるさと新居浜」（新居浜市教育委員会） 「地名の由来・新居浜」（新居浜市教育委員会） 「とっておきの新居浜検定」（新居浜商工会議所）
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクールとしてのESDの推進を、本校の研究主題「豊かな心と確かな学力を身に付け、よりよく生きようとする児童の育成」を実現する柱の一つとして位置付けている。

各学年の発達段階や本校のESDに関する4つの視点（ふるさと、環境、福祉、生命）に応じて、ESDの学年テーマを設定し、1・2年生は生活科、3～6年生は総合的な学習の時間を中心に、指導計画を作成している。

また、他教科（国語科、社会科、理科）や他領域（道徳、特別活動）、学校行事（自然の家、修学旅行）、他学年との活動と関連しながら横断的でありよい学びができるように、校内で共通理解を図り、活動を推進している。

指導方法については特に、「コミュニケーション能力を高める言語活動」「地域のくらしや文化に学ぶふるさと学習」「ゲストティーチャーを活用したより専門的な学び」について工夫・改善を積み重ねてきている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度当初に各学年団でESDカレンダーを作成し、本校のESDテーマ「ふるさと発見 つなげよう未来へ」につながる内容であるか、本校のESDに関する4つの視点（ふるさと、環境、福祉、生命）に立った内容であるか等を校内研修で話し合い、共通理解を図っている。

活動を開始してからも、他学年交流や地域の人材活用、学校と家庭・地域との連携等を教員間で協力しながら、学校全体としてESDを推進する体制・環境づくりに努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校内部の評価について、児童は毎学期、自己評価・相互評価を通して評価を行っている。教員については、年度末に学年団・全体で1年間の活動を振り返り、「活動前の準備・学習環境」「活動中の児童の変容」「活動後の日常生活における実践化」について分析を行い、次年度に向けて改善してきた積み重ねが成果である。

学校外部の評価については、まだ十分ではないのが課題である。今後、周辺の実践校の取組を参考にしたり、校内研修で外部の評価について話し合ったりしながら改善を図りたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ESDの活動成果については、学期ごとに伝え合う場を設け、活動成果を共有したり、物事の見方・考え方を広げたりするようにしている。

発信方法については、パビリオン形式(わくわくフェスティバル)や新聞、パンフレット、パソコンを使ったプレゼンテーション等、各学年の発達段階や活動内容に応じた方法で行っている。

活動成果の発信を通して、成果が当該学年だけでなく、他学年、家庭、地域へと広がり、日常生活における実践化にもつながっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

6年生では、1学期に前校長をゲストティーチャーに招き、平和学習を行った。被爆2世である前校長の話聞き、当時の悲惨な様子や時代背景、戦後の人々の努力や苦勞など、生命の尊さや平和の大切さについて学んだ。

同じく6年生の3学期には、公益社団法人・誕生学協会から誕生学講師をゲストティーチャーに招き、誕生学を行った。かけがえのない命の尊さや家族への感謝の気持ちを知るとともに、全ての人と共に生きていこうとする心情を高めた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)  
※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成については、まだ実施できていない。

今後の課題として、周辺の実践校の取組を参考にしたり、校内研修で国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワークについて話し合ったりしながら改善を図りたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)  
※チェック事項 2-5 に対応

ESDの活動成果の発信を通して、学校・家庭の双方向の交流が深まってきた。学校外での探検・見学での保護者の付き添いボランティアでは多数の協力が得られ、安全に活動を進めるとともに、活動範囲を広げることができた。

また、ESD活動の積み重ねを通して、各学年のゲストティーチャーとの連絡・交流も盛んになってきている。今後も、現在の交流を大切にしながら、地域の人材バンクを構築していきたい。

低学年からのESDの活動におけるふるさと学習の積み重ねを通して、新居浜市と新居浜市教育委員会、新居浜商工会議所が連携して市内の小学校6年生全員を対象に実施しているご当地検定「新居浜ものしり検定（新居浜ジュニア検定試験）」では、今年度の6年生104名の受験者のうち、全体の66%にあたる69名が新居浜ものしり博士に認定された。また、全問正解のダイヤモンド賞に1名、正解90%以上の金賞に17名が選ばれた。

### (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

1年生・学年テーマ「大好き高津小学校」（ふるさと）  
（年間）大好き高津小学校（ふるさと学習）

2年生・学年テーマ「大好き高津」（ふるさと）  
（年間）大好き高津（ふるさと学習）

3年生・学年テーマ「わくわく高津発見」（ふるさと）  
（1・2学期）わくわく高津発見（ふるさと学習）  
（3学期）わたしたちの自慢の町（ふるさと学習）

4年生・学年テーマ「人に優しい町づくり」（福祉）  
（1学期）少年消防クラブの活動に参加しよう（防災教育）  
（2・3学期）人にやさしい町づくり（福祉教育）

5年生・学年テーマ「環境に優しい町づくり」（環境）  
（1学期）学ぼう大三島自然の家（環境教育）  
（2・3学期）GO!5!環境調査隊（環境教育）

6年生・学年テーマ「未来に生きる高津っ子」（ふるさと・命）  
（1学期）ヒロシマから学ぼう（平和学習）  
（2学期）自分を見つめよう（キャリア教育）  
（3学期）伝えよう、未来へ（ふるさと学習）

○ 平成30年度から、「児童の夢の実現や自己表現力の育成」をねらいに、6年生・2学期「自分を見つめよう」にキャリア教育を取り入れ、新たに研究実践を行う予定である。